



ツーリングアドバイス

気候：日本でいえば一年が、1、1、2、3、4、5、5、10、11、12、12月になった感じ。5月～10月が雨が少なくおすすめ。真夏は半袖可。春、秋はウインドブレーカーと、ロングタイツが必要。

道路事情：都心、郊外ともにバイクレーンが整備されている。ロードマップは町のビジターセンターや自転車ショップ、ドラッグストアにも置いてあるが、下記アドレスからPDFをダウンロードできる。

市街地→<http://vancouver.ca/maps.htm> 郊外→<http://www.translink.ca/>

フェリー：港のブースで購入した周遊券は、乗るたびにボーディングパス（乗船券）と引き換える。バスや列車と同様、自転車をそのまま持ち込める。

B&B：インターネットで予約可能。夏場の観光シーズンは混むため、料金が上がるところが多く、予約は最低2泊のところもある。<http://www.bbcanada.com/>

自転車のレンタル料金：今回2名が借りたカナダのメーカー「NORCO」のクロスバイクが4泊5日で160CA\$。少し低いグレードのモデルで4泊5日で100CA\$ほど。レンタルバイクショップはバンクーバー・デンマンストリートの北東端。

1 ナナイモのシンボル、バスチョン。毛皮貿易の事務所や対インディアン要塞だった 2 Ships Point Innから見たファニーベイ。空も雲も水も澄み渡っている 3 部屋から見たハモンドベイ。はるか彼方にはウイスラーの山々が 4 Kenのこしらえたタルト。朝食のメイディッシュだ 5 Norco社のクロスバイク VFR 2。本当によく走ってくれた 6 ナナイモのアンとケン。ツーリング最後の夜も話が弾んだ

癒されるのは洋の東西を問わない。ディナーは期待どおりフレンチだ。アメリカな「食い物」とは一線を画し、繊細なフランス「料理」に彼らはプライドを持っている。まずはビールで乾杯していると「白ワイン？ 赤？ それとも両方？」と聞かれ、「両方ください！」とこたえる。前菜はスモークサーモンの入ったマリネだ。次に自家製、ベシメルソースのかかった、クルマエビとキノコ料理が続く。スツキリとうまいカナダワインによく合う。「北京オリンピックで使った水はみんなこの島から持っていったんだ」など、地域にまつわる話をうかがった。ムースト・シヨコラが疲れた体に染みていく。

翌朝、「オウツ、オウツ」という奇妙な鳴き声で目が覚めた。デッキに出ると、休憩所になっている沖のいかだの上でシーライオン（アシカ）ががががが。宿の朝食は、タルトやマフィンのほかに、力が出るようにと焼き洋梨のクリームチーズ添えを特別にあつらえてくれた。

朝食のデザートが効いて、足どりが軽い。あつという間にクウォリカムビーチを過ぎ、パークスヴィルへ入る。ここからは交通量が増え、高速道路の路側帯を走ることに。時速100km以上で抜き去る車に急がされ、たちまちナナイモの街外れに着いた。

今夜の宿は「Hammond Bay Side Executive Suite Inn」。病院に行つてくると書かれた張り紙があったので、ナナイモの街へ向かう。バスチョン

朝の真つただ中。世界一住みやすい都市にランクされているのは、自然との距離が張りなくゼロに近いからだろう。穏やかな気候で、蒸し暑い夏もない。やさしく至誠的なカナダ人気質は、日本人の感性とも合う。身近に自然を感じ、人とのふれあいが深まるB&B利用の自給自足。

や博物館をめぐり、タイ料理店に入る。客に媚びないトムヤンクンの辛さはここでも同じだ。オルカが描かれた地ビール「パイパース・ペール・エール」で舌のしびれを癒す。ジャスミンライスも旨い。路傍にシカがいた。庭にもくるらしい。ラッコも海から上がってきて、池の鯉を食べるとご主人のケンがこぼしていた。太平洋岸のトワイノあたりでは、熊どころかクラーガーが普通に出没、校庭で小学生が喰われたそう。人と自然との距離がとてつもなく近い。アンの焼いたクッキーを食べながら、今夜も話が尽きない。部屋の前は海。海峡越しの山々が朝日に映える。今朝は最終日。4度目の船旅はほとんど船内で過ごした。最後はレッドウッドの森のなかを下る。湿地には黄色い可憐な水芭蕉が咲く。「Skunk Cabbage」と呼ばれる英名は、知らぬが仏だ。トレイルライドで締め、ショップに着いた。バンクーバーは少し走ると、大自然の真つただ中。世界一住みやすい都市にランクされているのは、自然との距離が張りなくゼロに近いからだろう。穏やかな気候で、蒸し暑い夏もない。やさしく至誠的なカナダ人気質は、日本人の感性とも合う。身近に自然を感じ、人とのふれあいが深まるB&B利用の自給自足。

「次はどちら方面をまわろうかな？」そんな話をしながら、名残惜しい街を後にした。